

議員提出議案第26号

原子力発電所の警備に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成23年12月15日

提出者

1 番	むらまつ 勝康	2 番	池田 ひさよし
3 番	中 村 けいこ	4 番	平田 みつよし
5 番	秋 本 とよえ	6 番	筒 井 孝 尚
7 番	秋 家 聡 明	8 番	小 山 たつや
9 番	く ぼ 洋 子	1 3 番	出 口 よしゆき
1 4 番	黒柳 じょうじ	1 5 番	上 原 ゆみえ
1 6 番	安 西 俊 一	1 7 番	新 村 秀 男
1 8 番	く げ しげる	1 9 番	うてな 英 明
2 0 番	大 高 た く	2 1 番	清 水 忠
2 2 番	工 藤 きくじ	2 3 番	佐藤 ゆうだい
2 4 番	米 山 真 吾	2 5 番	梅 沢 五十六
2 6 番	小 用 進	2 7 番	舟 坂 ちかお
2 8 番	ふ せ 秀 明	2 9 番	上 村 やす子
3 0 番	向 江 すみえ	3 3 番	斉 藤 初 夫
3 4 番	牛 山 正	3 5 番	荒 井 彰 一
3 6 番	丸 山 銀 一	3 7 番	倉 沢 よう次

葛飾区議会議長 梅 沢 五十六 殿

原子力発電所の警備に関する意見書

今般の福島第一原子力発電所の事故は、国際社会に大きな衝撃を与えた。原発の安全対策は自然災害のみならず、テロ対策も重要であることは言うまでもない。

特に現在、収束に向けた努力が続けられている福島第一原発に対して、テロ組織等が攻撃を企てると、不安定な状態となっている原子炉から大量の放射性物質が放出される可能性もあり、厳重な警備態勢が必要とされている。

しかしながら、我が国の法体系、警備体制は十分とは言えず、原発を含めた重要施設の警備についても、国家として確固たる意志を示さなければ、テロリストの標的となり、国民の生命・財産を危機にさらす可能性があるものとする。

よって、本区議会は国会及び政府に対し、下記事項について早急に検討し、実現するよう強く求めるものである。

#### 記

- 1 「成田国際空港警備隊」を参考に、警察に新たに警備組織を創設するなど、警備体制の充実を図ること
- 2 海上からの攻撃に対処するため、海上保安庁と海上自衛隊の連携を強化すること
- 3 警察・自衛隊と周辺自治体を加えた防護訓練を実施すること

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。